

# Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2023年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科				
科目名称	肢体不自由児の心理・生理・病理				授業形態	講義			
科目コード	750138	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	山之内 幹								ICT活 用
授業概要	<p>特別支援教育の基礎理論に関する科目と並行して行われる授業であり、3年次で学ぶ指導法に繋ぐ内容を取り扱う。はじめに肢体不自由児・者の家庭生活や学校生活を紹介し、肢体不自由児・者の困り感について考える。次に肢体不自由の疾患で割合の多い脳性まひのタイプと特徴、脳性まひ児に関わる上で大切な基本的な事項について解説する。さらに進行性の疾患である筋ジストロフィーのタイプと特徴、筋ジストロフィー児に関わる上で基本的な留意点についても解説する。後半では特別支援学校での実際にお困り方については実技を通して学ぶ機会を持つ。また、感覚機能（聴覚 視覚 触覚）の向上や自発行動を促す教具の紹介と製作も行う。まとめの授業では筋ジストロフィー者の卒業後の生活の紹介を行い、家族支援の方法についても学生に問いかけ、これらの人々との向き合い方について考えを深めていく。</p>								
関連する科目	肢体不自由児教育論 病弱児教育総論 病弱児の心理・生理・病理								
授業の方法と進め方	<p>肢体不自由児・者の実際の生活の様子を紹介する。また主な疾患について学生が理解できるよう解説を行う。その上で、肢体不自由児への接し方を実技を通して学び、肢体不自由児・者の疾患や体の状態について具体的なイメージを持たせる。また教材・教具の製作等を通して、関わる上で留意点についても考えていく。</p>								
授業計画【第1回】	オリエンテーション 肢体不自由とは								
授業計画【第2回】	肢体不自由児・者の日常生活と困り感								
授業計画【第3回】	肢体不自由児・者の家族支援の方法								
授業計画【第4回】	肢体不自由児の主な疾患1 脳性麻痺のタイプと特徴、関わる上で配慮事項								
授業計画【第5回】	肢体不自由児の主な疾患2 筋ジストロフィー、進行するとはどういうことか								
授業計画【第6回】	筋ジストロフィー児に対してのスポーツやゲームの開発と工夫（ドーナツゲーム）								
授業計画【第7回】	肢体不自由児の主な疾患3 脊椎損傷、ペルテス、他								
授業計画【第8回】	肢体不自由児への具体的なケアの方法 身体のリラクゼーションと拘縮予防（実技）								
授業計画【第9回】	運動発達と姿勢作り（実技）								
授業計画【第10回】	補助具の紹介と活用（車いす体験）								
授業計画【第11回】	感覚機能を自発行動を促す教具の紹介								

授業計画 【第12回】	感覚機能を高める教具の製作 固定式ポケットオルゴール（前半）
授業計画 【第13回】	感覚機能を高める教具の製作 固定式ポケットオルゴール（前半）
授業計画 【第14回】	肢体不自由児特別支援学校における医療的ケアと関係機関との連携
授業計画 【第15回】	今日的課題とまとめ
授業の到達目標	肢体不自由児・者の日常生活における困り感や、それを支える家族の思いを知る。肢体不自由の主疾患である脳性麻痺や筋ジストロフィー症等のタイプや特徴、関わる上で必要な知識を得る。リラクゼーションの技法を学ぶことを通して肢体不自由児・者のまひや拘縮といった実態を模擬体験する。また教具の製作を通して、肢体不自由児の感覚機能の向上や自発行動を促すことの意義について理解する。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)
授業時間外の学習 【予習】	予告で示された次時の内容について、資料などを読み、用語などを調べる（1時間）。
授業時間外の学習 【復習】	授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理する。課題に対して、自分なりに対処しノートやレポート等にまとめる（1時間）
課題に対する フィードバック	課題に対してのレポート等についてはコメントを付して返却する
評価方法・基準	定期テスト90% レポート10%
テキスト	必要に応じて資料を配布します
参考書	特別支援教育における教育実践の研究 批評社 実践みんなの障害児教育 学研 体育科教育 大修館 特別支援学校学習指導要領 文部科学省
備考	